



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ 上場取引所 東
コード番号 1384 URL <https://www.hokuryo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松岡 昌哉 TEL 011-812-1131
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,386	△7.7	249	△72.6	270	△70.9	186	△69.5
2024年3月期第1四半期	4,750	19.4	910	236.9	931	221.0	610	191.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	22.00	—
2024年3月期第1四半期	72.20	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,100	12,163	71.1
2024年3月期	17,764	12,318	69.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 12,163百万円 2024年3月期 12,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,180	1.5	1,370	△39.0	1,430	△38.3	960	△42.0	113.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記」(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	8,459,000株	2024年3月期	8,459,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	82株	2024年3月期	82株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	8,458,918株	2024年3月期1Q	8,458,918株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象の注記)	6

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における日本経済は、5月の所定内給与が31年ぶりの高い伸び率を示すなど、2年連続で続いた賃上げの効果が出てきました。また日経平均株価は年初の33,288円から上昇基調となり、当第1四半期累計期間においては38,000円～39,000円まで上昇するなど日本経済全体にも力強さが戻ってきました。しかしながら一方でロシア軍によるウクライナ侵攻やガザ地区での紛争は終結の目途が立たず、アメリカ大統領選の行方も含め国際情勢はより不安定さを増しています。また為替もこの影響を受け年明けから当第1四半期累計期間にかけて円安が進み、6月末には160円を超える円安となりました。急激な円安は輸入品、エネルギーコストの上昇を招き、消費者物価の上昇から実質賃金は今年5月まで26か月マイナスとなるなど今後の景気動向への懸念材料となっています。

鶏卵相場は、一昨年秋から昨年4月にかけて全国に広がった鳥インフルエンザ発生に伴い淘汰された1,700万羽近い採卵鶏の再導入が進み鶏卵供給力が鳥インフルエンザ流行前の水準に戻った一方で、鶏卵需要は業務用の回復が著しく遅れています。この結果当第1四半期累計期間（2024年4月1日～2024年6月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ218円27銭（前年同四半期比146円06銭安）、東京Mサイズ平均は1キロ207円46銭（同142円16銭安）となりました。

鶏卵生産コストの6割を占める飼料価格は、原料となるトウモロコシの豊作予想等から当第1四半期累計期間は前期（2024年1～3月）比でトン当たり4,800円の値下げとなりましたが、前期には発動されていた飼料安定基金がなくなったことから実質飼料コストは前年同期より上がりました。

当第1四半期累計期間における当社の鶏卵販売は、昨年4月千歳農場で淘汰した採卵鶏70万羽の再導入がほぼ完了したことから販売数量は前年同期比で増加したものの相場下落の影響を受け、当第1四半期累計期間の業績は、売上高4,386百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益249百万円（同72.6%減）、経常利益270百万円（同70.9%減）、四半期純利益186百万円（同69.5%減）となりました。

また、第2四半期以降については、北半球の天候、為替動向、及び今年秋以降の国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況が、当社の経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

なお、当社は鶏卵事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産

当第1四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べて664百万円減少し17,100百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて940百万円減少し5,404百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1,017百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて276百万円増加し11,696百万円となりました。これは、主として有形固定資産の建物が107百万円、その他が105百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

②負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べて509百万円減少し4,936百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べて432百万円減少し3,216百万円となりました。これは、主として買掛金が241百万円、未払法人税等が264百万円、賞与引当金が75百万円それぞれ減少した一方で、その他が206百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて76百万円減少し1,720百万円となりました。これは、主として長期借入金が73百万円減少したこと等によるものです。

③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末に比べて154百万円減少し12,163百万円となりました。これは、主として利益剰余金が152百万円減少したこと等によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の業績予想については2024年5月14日の決算公表時に発表した業績予想から修正はありません。なお、2024年7月9日に「令和6年度「へい殺畜等手当金」（特別損益）の計上に関するお知らせ」を公表いたしました。詳細は、「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象の注記）」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,900	2,882
受取手形及び売掛金	1,878	1,906
商品及び製品	118	107
仕掛品	17	14
原材料及び貯蔵品	180	172
その他	249	320
流動資産合計	6,344	5,404
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,966	7,073
構築物（純額）	406	407
機械及び装置（純額）	1,290	1,357
車両運搬具（純額）	25	26
土地	1,377	1,376
その他（純額）	246	352
有形固定資産合計	10,311	10,592
無形固定資産	58	55
投資その他の資産		
投資有価証券	545	542
その他	503	506
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	1,049	1,048
固定資産合計	11,419	11,696
資産合計	17,764	17,100
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,689	1,448
電子記録債務	234	211
1年内返済予定の長期借入金	302	302
未払法人税等	362	97
賞与引当金	149	74
役員賞与引当金	34	—
その他	876	1,083
流動負債合計	3,649	3,216
固定負債		
長期借入金	1,428	1,354
退職給付引当金	158	162
役員退職慰労引当金	97	95
資産除去債務	77	77
その他	35	29
固定負債合計	1,796	1,720
負債合計	5,446	4,936

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055	1,055
資本剰余金	754	754
利益剰余金	10,314	10,162
自己株式	△0	△0
株主資本合計	12,123	11,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	195	192
評価・換算差額等合計	195	192
純資産合計	12,318	12,163
負債純資産合計	17,764	17,100

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,750	4,386
売上原価	3,407	3,819
売上総利益	1,343	567
販売費及び一般管理費	432	318
営業利益	910	249
営業外収益		
受取利息	—	0
受取配当金	6	7
仕入割引	5	5
受取賃貸料	8	8
その他	4	3
営業外収益合計	24	24
営業外費用		
支払利息	1	0
賃貸費用	2	2
その他	—	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	931	270
特別利益		
固定資産売却益	0	4
受取保険金	7	—
補助金収入	19	40
その他	1	—
特別利益合計	29	45
特別損失		
固定資産除却損	0	42
鳥インフルエンザによる損失	68	—
特別損失合計	68	42
税引前四半期純利益	892	273
法人税等	281	87
四半期純利益	610	186

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	249百万円	274百万円

(重要な後発事象の注記)

「へい殺畜等手当金」の計上に関する事項

1. 昨年当社千歳農場で発生した鳥インフルエンザに伴う採卵鶏殺処分に対する「へい殺畜等手当金」につき、2024年7月4日付けにて北海道石狩家畜保健衛生所長より交付決定通知を受領いたしました。

2. 「へい殺畜等手当金」の内容

千歳農場1係 415百万円

千歳農場2係 315百万円

合計 731百万円

3. 本交付金の交付により、2025年3月期第2四半期の決算において731百万円を特別利益に計上いたします。

また、本手当金は2024年5月14日に公表した2025年3月期の通期業績予想には含まれておりません。

なお、当該業績予想につきましては、他の要因も含め現在精査中であり、今後業績の修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。